NIE実践報告

1．タイトル：**公民的資質を持つ子どもを育てるために　ー伝えよう、歴史遺産ーの学習を通して**

2．学校名

和歌山県田辺市立新庄小学校

3．実践者名（代表者名）

橘加奈子

4．学年

**第6学年**

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

**総合的な学習の時間　３１人**

6．単元（本時の学習課題）名

**伝えよう、歴史遺産**

7．目標（狙い）

**新庄の伝統的な文化である「ぎおんまつり」を周囲の地域にＰＲするとともに、津波対策の重要性を訴える。**

8．評価の視点

**課題解決のために、取材計画を立て、しっかり取材活動を行うことができたか。**
**得た情報の中から必要な情報を判断・選択し、適切な記事を書くことができたか。**

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

**「伝えよう、歴史遺産」[総合的な学習の時間：11時間]**

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

**①新庄地域を他地域の方々にさらに知ってもらうにはどうすればよいかを考える。（２時間）**
**（留意点）新庄地域独自の行事やこの地域ならではの特徴を確認する。**
**昨年度のテレビ番組作り「新庄のぎおんさん」の取材活動を思い出させる。**
**②「ぎおんさん」の歴史や夜見世の作品作りの様子および地域の津波対策の様子を取材する。（４時間）**
**（留意点）担任は事前に、取材先を訪問し取材の意図や詳細の打ち合わせを行っておく。**
**取材相手には、事前にアポイントを取らせておく。**
**③各グループで、取材メモから必要な情報を判断・選択し、パソコンを使って記事を書く。（２時間）**
**（留意点）記事の内容に会う写真の選択も行わせる。**
**④編集会議を開き、記事の推敲を行うとともに見出し・リード文等を考える。（２時間）**
**（留意点）リード文や見出しは、事前に各グループの代表による編集会議で考えさせておく。**
**⑤紀伊民報社で作成されたゲラ刷りをチェックし、校正する。（１時間）**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

**自分たちの作った新聞が、実際に紀伊民報に掲載されてうれしかった。地域を回り取材することにより、地域の方々の思いや願いがとても伝わってきた。さらに、新庄のよき伝統を守っていかなければならないと痛感した。**

12．成果と課題

**昨年度のテレビ番組作りの経験を生かし、地域のお祭りについてしっかり取材活動を行うことができた。さらに昨年の３月１１日に起こった東日本大震災の際には自分たちも大津波警報で避難したということもあり、今回の津波対策に関する取材活動も意欲的に行うことができた。昨年の東日本大震災の時同様、田辺市を含む和歌山県南部を襲った台風１２号に対しても児童会役員が全校児童に呼びかけ、保護者の方々からのご協力も得て義援金を集めた。今回の活動を通して地域の一員であるという気持ちを強くした子どもたちであったが、さらに社会の一員としての意識を強くし、自分たちにできることを行っていくことがこれからの課題となる。**